

# 東日本大震災関連図書

福島県男女共生センター 図書室

2024年6月

女性問題・男性問題・女性史	2p
社会・労働	3p
結婚・家族	4p
高齢社会・福祉・暮らし	5p
心・からだ・性	11p
文学・芸術・スポーツ	11p
情報・ネットワーク	13p
国際関係	13p

# 東日本大震災関連図書一覧 (3.11以降に発行 別置記号: S)

(2024年6月現在)

分類	書名	著者名など	出版社	出版年
【女性問題・男性問題・女性史】				
S/1101/ア /330	あごら330号 東日本大震災に想うⅡ 原発はいらない	あごら新宿 // 編	BOC出版部	2011
S/1101/ア	あの日あの時 東日本大震災に遭遇して それぞれの体験記	(福島市磐青の会 // 著)	(福島市磐青の会)	2012
S/1101/オ	女たちの3.11 変わらなきや、ニッポン！ それでも、私は命を繋いでいく。	坂田雅子[ほか] // 著	オフィスエム	2011
S/1101/サ	災害支援に女性の視点を！	竹信三恵子・赤石千衣子 // 編	岩波書店	2012
S/1101/サ	災害復興 東日本大震災後の日本の在り方を問う 女性こそ主役に！	日本弁護士連合会 // 編	日本加除出版	2012
S/1101/サ	3・11女たちが走った 女性からはじまる復興への道	日本BPW連合会 // 編	ドメス出版	2012
S/1101/サ	〈3.11フクシマ〉以後のフェミニズム 脱原発と新しい世界へ	新・フェミニズム批評の会 // 編	御茶の水書房	2012
S/1101/シ	震災・原発事故と福島の女性たち 東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故発生から一年余		国際女性教育振興会福島県支部	2012
S/1101/ダ	「大震災」とわたし Different Voices From Hiroshima,2011	高雄きくえ・ひろしま女性学研究所 // 編	ひろしま女性学研究所	2012
S/1101/ツ	伝えたい福島の3・11	福島県退職女性教職員あけぼの会 // 編	福島県退職女性教職員あけぼの会	2013
S/1101/フ	福島原発事故と女たち 出会いをつなぐ	近藤和子・大橋由香子 // 編	梨の木舎	2012
S/1101/ヤ	それでも彼女は生きていく 3・11をきっかけにAV女優となった7人の女の子	山川徹 // 著	双葉社	2013
S/1103/カ	ヒロシマとフクシマのあいだ ジェンダーの視点から	加納実紀代 // 著	インパクト出版会	2013
S/1103/サ	災害とジェンダー関連事業報告書: 東日本大震災と原発事故後の取組を振り返る	(福島県男女共生センター「女と男の未来館」 // 著)	男女共同参画と災害・復興ネットワーク 日本女性学習財団 福島県青少年育成・男女共生推進機構	2015
S/1103/フ	復興に女性たちの声を 「3・11」とジェンダー	村田晶子 // 編著	早稲田大学出版部	2012
S/1103/ヒ	現場に学ぶ、女性と多様なニーズに配慮した災害支援事例集 災害支援にジェンダーの視点を！ こんな支援が欲しかった！	東日本大震災女性支援ネットワーク // 制作	東日本大震災女性支援ネットワーク	2012
S/1201/イ	飯館の女性たち	いいたてWING19	SEEDS出版	2016
S/1203/ヒ	100年前からの警告 福島原発事故と朝河貫一	武田徹・梅田秀男・佐藤博幸 // 著	花伝社	2014
S/1301/ア	みやぎ3・11「人間の復興」を担う女性たち 戦後史に探る力の源泉	浅野富美枝 // 著	生活思想社	2016
S/1301/ア	女性×男性の視点で総合防災力アップ あなた自身と家族、本当に守れますか？ 男女双方の視点を入れた防災活動を、地域や組織で具体的に進めるために	浅野幸子 // 著	日本防火協会	2011
S/1301/セ	よりよく生き延びる 3・11と男女共同参画センター	せんだい男女共同参画財団 // 編	新潮社図書編集室	2017

分類	書名	著者名など	出版社	出版年
S/1301/ダ	男女共同参画と災害リスク削減「女性の力で変革を」男女共同参画と災害・復興ネットワーク4年間の活動記録2011～2015		男女共同参画と災害・復興ネットワーク 日本女性学習財団	2015
S/1301/ダ	男女共同参画の視点で実践する災害対策 テキスト 災害ジェンダー〈基礎編〉	東日本大震災女性支援ネットワーク研修プロジェクト担当 // 編	東日本大震災女性支援ネットワーク	2013
S/1301/ダ	男女共同参画の視点で取り組む防災ハンドブック 行政担当者・地域リーダー・団体活動をする方へ	栃木県・とちぎ男女共同参画財団 // 編	栃木県・とちぎ男女共同参画財団	2013
S/1301/フ	復興を取り戻す 発信する東北の女たち	萩原久美子・皆川満寿美・大沢真理 // 編	岩波書店	2013
S/1301/ミ	女たちが動く 東日本大震災と男女共同参画の視点	宮城の女性支援を記録する会 // 編著	生活思想社	2012
S/1301/ミ	みんなが共に支え合う・男女共同参画の視点で取り組むわたし・わが家・わがまちの防災ハンドブック	栃木県・とちぎ男女共同参画財団 // 編	栃木県・とちぎ男女共同参画財団	2013

#### 【社会・労働】

2101/ケ	原発避難者の声を聞く 復興政策の何が問題か ※20170224現在不明	山本薰子[ほか] // 著	岩波書店	2015
S/2102/イ	啓け！ 被災地へ命の道をつなげ	岩田やすてる // 著	コスマの本	2013
S/2102/サ	闘う市長 被災地から見えたこの国の真実	桜井勝延・開沼博 // 著	徳間書店	2012
S/2102/サ	福島原発の真実	佐藤栄佐久 // 著	平凡社	2011
S/2102/ヒ	福島原発事故被災者支援政策の欺瞞	日野行介 // 著	岩波書店	2014
S/2104/イ	「原発事故子ども・被災者支援法」と「避難の権利」	eシフト(脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会) // 編	合同出版	2014
S/2104/オ	3・11とチェルノブイリ法 再建への知恵を受け継ぐ	尾松亮 // 著	東洋書店	2013
S/2104/カ	原発訴訟が社会を変える	河合弘之 // 著	集英社	2015
S/2104/ナ	あなたの福島原発訴訟 みんなして「生業を返せ、地域を返せ！」	『生業を返せ、地域を返せ！』福島原発訴訟原告団・弁護団 // 編	かもがわ出版	2014
S/2104/フ	これでも罪を聞えないのですか！ 福島原発告訴団50人の陳述書	福島原発告訴団 // 著	金曜日	2013
S/2106/オ	1984フクシマに生まれて	大野更紗・開沼博 // 著	講談社	2014
S/2106/カ	はじめての福島学	開沼博 // 著	イースト・プレス	2015
S/2106/セ	福島からの手紙 十二年後の原発災害	関礼子 // 編	新泉社	2023
S/2106/ナ	高校生記者が見た、原発・ジェンダー・ゆとり教育	灘校新聞委員会 // 著	現代人文社	2014
S/2106/フ	福島と原発 誘致から大震災への五十年	福島民報社編集局 // 著	早稲田大学出版部	2013
S/2106/フ	福島と原発 2 放射線との闘い+1000日の記憶	福島民報社編集局 // 著	早稲田大学出版部	2014
S/2106/フ	福島と原発 3 原発事故関連死	福島民報社編集局 // 著	早稲田大学出版部	2015
S/2106/ム	災厄を生きる 物語と土地の力 東日本大震災からコロナ禍まで	村本邦子 // 著	国書刊行会	2022

分類	書名	著者名など	出版社	出版年
S/2106/ワ	ふくしま・震災後の生活保障 大学生たちの目で見た現状	早稲田大学菊池ゼミ・福島大学長谷川ゼミ//著 菊池馨実//編著	早稲田大学出版部	2013
S/2106/ワ	福島の声を聞こう！ 3.11後を生き抜く7人の証言	渡辺一枝//著	オフィスエム	2014
S/2108/サ	裁かれた内部被曝 熊本原爆症認定訴訟の記録	熊本県原爆被害者団体協議会・原爆症認定訴訟熊本弁護団//編	花伝社	2012
S/2109/ヒ	避難する権利、それぞれの選択 被曝の時代を生きる	川崎健一郎[ほか]//著	岩波書店	2012
S/2110/ア	災間に生かされて	赤坂憲雄	亜紀書房	2023
S/2113/マ	ふくしま賛歌 日本の「宝」を訪ねて	黛まどか	新日本出版社	2016
S/2114/オ	放射能と人体 細胞・分子レベルからみた放射線被曝	落合栄一郎//著	講談社	2014
S/2114/キ	メイドインふくしま	コリン・キャンベル クエンティン・リクトブラウ//本文	メタグループ	2020
S/2114/ス	放射能に克つ農の営み ふくしまから希望の復興へ	菅野正寿・長谷川浩//編著	コモンズ	2012
S/2114/ソ	東電原発事故10年で明らかになったこと	添田孝史//著	平凡社	2021
S/2114/ソ	原発と大津波 警告を葬った人々	添田孝史//著	岩波書店	2014
S/2114//	農と言える日本人 福島発・農業の復興へ	野中昌法//著	コモンズ	2014
S/2201/ケ	原発事故と被曝労働	被ばく労働を考えるネットワーク//編	三一書房	2012
S/2201/ハ	福島第一原発収束作業日記 3・11からの700日間	ハッピー//著	河出書房新社	2013
S/2201/ヒ	原発被ばく労災 拡がる健康被害と労災補償	被ばく労働を考えるネットワーク//編	三一書房	2018
S/2204//	Q&A震災と雇用問題	野川忍//著	商事法務	2011
S/2205/シ	フラガール3.11 つながる絆	清水一利//著	講談社	2011
S/2205/ヒ	復興から自立への「ものづくり」福島のおかあさんが作ったくまのぬいぐるみはなぜパリで絶賛されたのか	飛田恵美子//著	小学館	2019
S/2206/イ	わたしはゼッタイに負けない！！福島原発事故から150日 復活した元気な旅館の物語	石橋孝子//著	柴田書店	2012
S/2206/イ	山の珈琲屋 飯館「極久里」の記録	市澤秀耕・市澤美由紀//著	言叢社	2013
S/2206/ニ	企業と震災 結び目が生んだ25のストーリー	日本財団//編	木楽舎	2012
S/2209/シ	食と農でつなぐ 福島から	塩谷弘康・岩崎由美子//著	岩波書店	2014
S/2209/フ	飯館村の母ちゃんたち 福島・女性たちの選択	古居みづえ	彩流社	2023
S/2209/ホ	あきらめないことにしたの	堀米薰//著	新日本出版社	2015

### 【結婚・家族】

S/3101/シ	震災婚 震災で生き方を変えた女たち ライフスタイル・消費・働き方	白河桃子//著	ディスカヴァー・トゥエンティワン	2011
S/3102/ミ	震災離婚	三浦天紗子//著	イースト・プレス	2012

分類	書名	著者名など	出版社	出版年
S/3103/サ	地震と独身	酒井順子 // 著	新潮社	2014
S/3103/サ	3.11後を生きる シングルマザーたちの体験を聞く		しんぐるまさ あず・ふおーら む	2013
S/3201/マ	3・11から考える「家族」 戦後を問う、現在を歩く	真鍋弘樹 // 著	岩波書店	2012
S/3203/タ	福島のお母さん、聞かせて、その小さな声を	柳澤明子 // 著	彩流社	2016
S/3203/タ	福島のお母さん、いま、希望は見えますか？	柳澤明子 // 著	彩流社	2019
S/3203/ヨ	ルポ母子避難 消されゆく原発事故被害者	吉田千亜 // 著	岩波書店	2016
S/3205/ア	「あの日」に生まれてきた命 宮城、福島で命をはぐくむお母さんの奇跡	鮫島浩二 // 監修 茂木菜穂子 // 取材・文	アスペクト	2011
S/3206/サ	あの日からもずっと、福島・渡利で子育てしています	佐藤秀樹 // 著	かもがわ出版	2013
S/3206/カ	あなたを守りたい 3・11と母子避難	海南友子 // 著	子どもの未来社	2013
S/3207/オ	尾木ママと考える大震災後を生きる希望のヒント	尾木直樹・石坂啓 // 著	金曜日	2012
S/3208/ス	「ふくしま」の子どもたちとともに歩むスクール ソーシャルワーカー 学校・家庭・地域をつなぐ	鈴木庸裕 // 編著	ミネルヴァ書房	2012
S/3208/ヨ	奇跡の犬、ウィル 福島から来た学校犬の物語	吉田太郎 // 著	セブン&アイ出版	2016
S/3210/コ	郡山物語 未来を生きる世代よ！震災後子どものケアプロジェクト	菊池信太郎[ほか] // 著	福村出版	2014
S/3210/サ	3.11後の子どもと健康 保健室と地域に何ができるか	大谷尚子 白石草 吉田由布子 // 著	岩波書店	2017
S/3210/ダ	大震災と子どもの貧困白書	「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワーク // 編	かもがわ出版	2012
S/3210/チ	地域子ども学をつくる 災害、持続可能性、北欧の視点	地域子ども学研究会 // 編 天童睦子 // 責任編集	東信堂	2022
S/3210/ニ	福島の子ども保養 協同の力で被災した親子に笑顔を	西村一郎 // 著	合同出版	2014

#### 【高齢社会・福祉・くらし】

S/4101/ヨ	100歳じいさん101歳ばあさん どっこい生きる100年の知恵	吉田信・吉田ツル // 著	講談社	2012
S/4102/ア	避難弱者 あの日、福島原発間近の老人ホームで何が起きたのか？	相川祐里奈 // 著	東洋経済新報社	2013
S/4103/ア	バリアフリーのその先へ！ 車いすの3.11	朝霧裕 // 著	岩波書店	2014
S/4103/ナ	あと少しの支援があれば 東日本大震災 障がい者の被災と避難の記録	中村雅彦 // 著	ジアース教育新社	2012
S/4106/セ	生活支援相談員ハンドブック 孤立を防ぎ、参加とつながりを生み出す支援のために ふくしま版	生活支援コーディネーターのためのハンドブック作成委員会 // 編	日本ボランティアコーディネーター協会	2013
S/4106/ワ	忘れない 伝えよう つながろう 東日本大震災の記録・宮城	泉区福祉ガイドブック作成委員会 // 編	編者に同じ	2012
S/4201/ア	被災ママに学ぶちいさな防災のアイディア40 東日本大震災を被災したママ・イラストレーターが3・11から続けている「1日1防災」	アベナオミ // 著	学研プラス	2017
S/4201/カ	もしときサバイバル術Jr. 災害時に役立つスキルを手に入れろ！	片山誠 // 著 高橋未来 // イラスト	太郎次郎社工ディタス	2018
S/4201/コ	被災ママ812人が作った子連れ防災手帖	つながる.com // 編	メディアファクトリー	2012

分類	書名	著者名など	出版社	出版年
S/4201/サ	台所防災術 がんばらなくても大丈夫	坂本廣子・坂本佳奈 // 著	農山漁村文化協会	2012
S/4201/ニ	プロの防災ヒント180警視庁災害対策課ツイッター	日本経済新聞出版 // 編 警視庁 // 取材協力	日経BP日本経済新聞出版	2023
S/4201/ミ	おしゃれ防災アイデア帖 日々の暮らしに馴染み、“もしも”の時は家族を守る70の備え	Misa	山と溪谷社	2021
S/4203/サ	あの日からのお母さんのしごと わが子を放射能から守る知恵と工夫	境野米子 // 著	ワニ・プラス	2012
S/4203/シ	仮設住宅アーカイブス 福島の応急仮設住宅	柴崎恭秀 // 編著	会津大学短期大学部	2014
S/4203/フ	考えよう！明日を担う子供達のための住まいづくり 放射線対策住宅を考える	福島県建築士会女性委員会 // 著	福島県建築士会女性委員会	2014
S/4207/ア	いないことにされる私たち 福島第一原発事故10年目の「言ってはいけない真実」	青木美希	朝日新聞出版	2021
S/4207/ア	プロメテウスの罠 明かされなかつた福島原発事故の真実	朝日新聞特別報道部 // 著	学研パブリッシング	2012
S/4207/ア	プロメテウスの罠 2 検証！福島原発事故の真実	朝日新聞特別報道部 // 著	学研パブリッシング	2012
S/4207/ア	プロメテウスの罠 3 福島原発事故、新たなる真実	朝日新聞特別報道部 // 著	学研パブリッシング	2013
S/4207/ア	プロメテウスの罠 4 徹底究明！福島原発事故の裏側	朝日新聞特別報道部 // 著	学研パブリッシング	2013
S/4207/ア	プロメテウスの罠 5 福島原発事故、渾身の調査報道	朝日新聞特別報道部 // 著	学研パブリッシング	2013
S/4207/ア	プロメテウスの罠 6 ふるさとを追われた人々の、魂の叫び！	朝日新聞特別報道部 // 著	学研パブリッシング	2014
S/4207/ア	プロメテウスの罠 7 100年先まで伝える！原発事故の真実	朝日新聞特別報道部 // 著	学研パブリッシング	2014
S/4207/ア	プロメテウスの罠 8 決して忘れない！原発事故の悲劇	朝日新聞特別報道部 // 著	学研パブリッシング	2014
S/4207/ア	プロメテウスの罠 9 この国に本当に原発は必要なのか！？	朝日新聞特別報道部 // 著	学研パブリッシング	2015
S/4207/ア	地図から消される街 3.11後の「言ってはいけない真実」	青木美希	講談社	2018
S/4207/イ	いま原発で何が起きているのか 原発震災の100日 特別報道写真・解説集		河北新報出版センター	2011
S/4207/イ	ホットスポット ネットワークでつくる放射能汚染地図	NHK ETV特集取材班 // 編	講談社	2012
S/4207/イ	福島第一原発事故7つの謎	NHKスペシャル『メルトダウン』取材班 // 著	講談社	2015
S/4207/オ	終わりなき危機 日本のメディアが伝えない、世界の科学者による福島原発事故研究報告書	ヘレン・カルディコット // 監修 河村めぐみ // 訳	ブックマン社	2015
S/4207/オ	東電被曝二〇二〇・黙示録	小笠原和彦 // 著	風媒社	2020
S/4207/カ	美味しんぼ「鼻血問題」に答える	雁屋哲 // 著	遊幻舎	2015
S/4207/カ	福島原発人災記 安全神話を騙った人々	川村湊 // 著	現代書館	2011
S/4207/カ	家族写真 3・11原発事故と忘れられた津波	笠井千晶 // 著	小学館	2020
S/4207/キ	私はあいちゃんのランドセル 福島原発事故の記録 ふるさとで過ごすモノたちのひとりごと	菊池和子 // 写真・文	遊行社	2020
S/4207/キ	「放射能汚染地図」の今	木村真三 // 著	講談社	2014

分類	書名	著者名など	出版社	出版年
S/4207/ク	「心の除染」という虚構 除染先進都市はなぜ除染をやめたのか	黒川祥子 // 著	集英社インター・ナショナル	2017
S/4207/ケ	原発事故緊急対策マニュアル 放射能汚染から身を守るために	日本科学者会議福岡支部核問題研究委員会 // 編	合同出版	2011
S/4207/ケ	原発・放射能図解データ	野口邦和 // 監修	大月書店	2011
S/4207/コ	内部被曝の真実	児玉龍彦 // 著	幻冬舎	2011
S/4207/サ	福島が沈黙した日 原発事故と甲状腺被ばく	榎原崇仁 // 著	集英社	2021
S/4207/サ	核の難民 ビキニ水爆実験「除染」後の現実	佐々木英基 // 著	NHK出版	2013
S/4207/サ	福島の空の下で	佐藤幸子 // 著	創森社	2013
S/4207/シ	福島を切り捨てるのですか “20ミリシーベルト受忍論”批判	白井聰 // 著 「生業を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟原告団・弁護団 // 著	かもがわ出版	2015
S/4207/シ	ルポ・チェルノブイリ28年目の子どもたち ウクライナの取り組みに学ぶ	白石草 // 著	岩波書店	2014
S/4207/シ	調べてなっとく放射線		環境省	2014
S/4207/タ	飯館村からの挑戦 自然との共生をめざして	田尾陽一 // 著	筑摩書房	2020
S/4207/タ	福島嘘と真実 東日本放射線衛生調査からの報告	高田純 // 著	医療科学社	2011
S/4207/タ	裸のフクシマ 原発30km圏内で暮らす	たくきよしみつ // 著	講談社	2011
S/4207/タ	原発事故残留汚染の危険性 われわれの健康は守られるのか	武田邦彦 // 著	朝日新聞出版	2011
S/4207/テ	データでなっとく放射線 まんが なすびのギモン 健康影響編		環境省	2014
S/4207/テ	データでなっとく放射線 まんが なすびのギモン 身の回りの放射性物質編		環境省	2014
S/4207/ナ	放射線のひみつ 正しく理解し、この時代を生き延びるための30の解説	中川恵一 // 著	朝日出版社	2011
S/4207/ナ	原発事故で、生きものたちに何がおこったか。	永幡嘉之 // 写真・文	岩崎書店	2015
S/4207/ナ	忍び寄る震災アスベスト 阪神・淡路と東日本	中部剛・加藤正文 // 著	かもがわ出版	2014
S/4207/ニ	放射線と登山道	野口邦和 // 監修 日本労働者山岳連盟 // 編	桐書房	2012
S/4207/ハ	放射能からママと子どもを守る本 放射線防護学の第一人者が教える、見てすぐできる安心対策	野口邦和 // 著	法研	2011
S/4207/ハ	放射能の中で生きる、母たちへ チェルノブイリからフクシマへ、子どもの命を守る知恵	野呂美加 // 著	美術出版社	2011
S/4207/ハ	はかる、知る、くらす。子どもたちを放射能から守るために、わたしたちができること。		こどもみらい測定所	2014
S/4207/ヒ	非除染地帯 ルポ3・11後の森と川と海	平田剛士 // 著	緑風出版	2014
S/4207/ヒ	福島 原発と人びと	広河隆一 // 著	岩波書店	2011
S/4207/ヒ	福島原発メルトダウン FUKUSHIMA	広瀬隆 // 著	朝日新聞出版	2011

分類	書名	著者名など	出版社	出版年
S/4207/ヒ	こういうこと。終らない福島原発事故	広瀬隆[ほか] // 著	金曜日	2011
S/4207/フ/1	福島から伝えたいこと あの日あの時から 教師と生徒の声	福島県立高等学校教職員組合 女性部 // 編	福島県立高等学校教職員組合 女性部	2012
S/4207/フ/2	福島から伝えたいこと 第2集 奪われた尊厳を取り戻すために	福島県立高等学校教職員組合 女性部 // 編	福島県立高等学校教職員組合 女性部	2013
S/4207/フ/3	福島から伝えたいこと 第3集 希望は闘いの中に	福島県立高等学校教職員組合 女性部 // 編	福島県立高等学校教職員組合 女性部	2015
S/4207/ホ	放射能汚染が未来世代に及ぼすもの「科学」を問い合わせ、脱原発の思想を紡ぐ 女性の視点によるチェルノブイリ25年研究	綿貫礼子 // 編	新評論	2012
S/4207/マ	あなたの隣の放射能汚染ゴミ	まさのあつこ // 著	集英社	2017
S/4207/ミ	図説・17都県放射能測定マップ+読み解き集 2011年のあの時・いま・未来を知る	みんなのデータサイト マップ集編集チーム // 企画・編集	みんなのデータサイト出版	2018
S/4207/ム	10年後の福島からあなたへ	武藤類子 // 著	大月書店	2021
S/4207/ム	福島からあなたへ	武藤類子 // 著 森住卓 // 写真	大月書店	2012
S/4207/ヤ	やまかわうみ 自然と生きる自然に生きる 自然民俗誌 2011年夏号(創刊号)		アーツアンドクラフト	2011
S/4207/ヤ	やまかわうみ 自然と生きる自然に生きる 自然民俗誌 2011年秋号(vol.2)		アーツアンドクラフト	2011
S/4207/ヤ	水俣から福島へ 公害の経験を共有する	山田真 // 著	岩波書店	2014
S/4207/ヤ	福島で生きる！ 原発31km地点・100日の記録	山本一典 // 著	洋泉社	2011
S/4207/ワ/1	わが子からはじまる原子力と原発きほんのき(クレヨンハウス・ブックレット 1)	上田昌文 // 著	クレヨンハウス	2011
S/4207/ワ/2	わが子からはじまる食べものと放射能のはなし(クレヨンハウス・ブックレット 2)	安田節子 // 著	クレヨンハウス	2011
S/4207/ワ/3	「原発をつくった」から言えること(わが子からはじまるクレヨンハウス・ブックレット 3)	後藤政志 // 著	クレヨンハウス	2011
S/4207/ワ/4	小児科医が診た放射能と子どもたち(わが子からはじまるクレヨンハウス・ブックレット 4)	山田真 // 著	クレヨンハウス	2011
S/4207/ワ/5	目を凝らしましょ。見えない放射能に。(わが子からはじまるクレヨンハウス・ブックレット 5)	うのさえこ // 著	クレヨンハウス	2012
S/4207/ワ/6	原発の「犠牲」を誰が決めるのか(わが子からはじまるクレヨンハウス・ブックレット 6)	高橋哲哉 // 著	クレヨンハウス	2012
S/4207/ワ/7	新聞記者が本音で答える「原発事故とメディアへの疑問」(わが子からはじまるクレヨンハウス・ブックレット 7)	田原牧 // 著	クレヨンハウス	2012
S/4207/ワ/8	ヒロシマから「内部被ばく」と歩んで(わが子からはじまるクレヨンハウス・ブックレット 8)	肥田舜太郎 // 著	クレヨンハウス	2012
S/4207/ワ/9	原発被ばく労働を知っていますか?(わが子からはじまるクレヨンハウス・ブックレット 9)	樋口健二 // 著	クレヨンハウス	2012
S/4207/ワ/10	城南信用金庫の「脱原発」宣言(わが子からはじまるクレヨンハウス・ブックレット 10)	吉原毅 // 著	クレヨンハウス	2012
S/4207/ワ/14	福島第一原発の「汚染水問題」は止まらない	山口幸夫 // 著	クレヨンハウス	2014
S/4207/ワ/15	原子力発電は「秘密」でできている	西尾漠 // 著	クレヨンハウス	2014
S/4208/ア	践ダイバーシティこおりやまと私 微力は無力じゃない	阿部のり子 // 著	生活思想社	2024

分類	書名	著者名など	出版社	出版年
S/4208/イ	生きている生きてゆく ビッグパレットふくしま避難所記	「ビッグパレットふくしま避難所記」刊行委員会 // 著	著者名同じ	2011
S/4208/イ	フクシマからの手紙 3・11後の日本に生きるすべての人へ	市川恵子 // 著	本の泉社	2011
S/4208/イ	いわて復興の歩み 2011-2014東日本大震災津波からの復興の記録		岩手県	2014
S/4208/イ	笑顔のキップ2012年春号 震災を経験した子どもたちに、10年後に読んでもらいたい本		チーム3ミニッツ	2012
S/4208/イ	笑顔のキップ 震災を経験した子どもたちに、10年後に読んでもらいたい本		生活デザイン研究機構	不明
S/4208/オ	原発に子孫の命は売れない 原発ができなかつたフクシマ浪江町	恩田勝亘 // 著	七つ森書館	2011
S/4208/オ	汐凧を捜して 原発の町大熊の3・11	尾崎孝史 // 著	かもがわ出版	2013
S/4208/カ	美しい村に放射能が降った 飯館村長・決断と覚悟の120日	菅野典雄 // 著	ワニ・プラス	2011
S/4208/カ	地方創生「ふたば」フェニックスシティ構想 原発事故被災八力町村は大合併で蘇る	片寄洋一 // 著	同友館	2016
S/4208/カ	地方創生福祉の街「ふたば」構想 原発事故被災八力町村は大合併で蘇る	片寄洋一 // 著	同友館	2018
S/4208/キ	原発被災した地域を支え、生きる 福島モデルの地域共生社会をめざして	菊池馨実 // 編 鈴木典夫 // 編	旬報社	2022
S/4208/キ	東日本大震災 ぎふ 支援の記録	岐阜新聞社報道本部 東日本大震災取材班 // 著	岐阜新聞社	2011
S/4208/ク	駆けて来た手紙	熊坂義裕 // 著	幻冬舎メディアコンサルティング	2020
S/4208/ゲ	福島に生きる	玄侑宗久 // 著	双葉社	2011
S/4208/コ	原発立地・大熊町民は訴える	木幡仁・木幡ますみ // 著	柘植書房新社	2012
S/4208/シ	原発にお地域の未来を託せるか 福島原発事故 利益誘導システムの破綻と地域再生への道	清水修二 // 著	自治体研究社	2011
S/4208/シ	原発とは結局なんだったのか いま福島で生きる意味	清水修二 // 著	東京新聞	2012
S/4208/シ /14	震災が残したもの 14	A-yan Tokyo // 編	A-yan Tokyo	2013
S/4208/ジ	地震 停電 放射能 みんなで生き抜く防災術 東日本大震災から私たちが学んだこと	小学館防災チーム // 編	小学館	2011
S/4208/タ	@Fukushima 私たちの望むものは	高田昌幸 // 著	産学社	2011
S/4208/タ	福島県民23人の声 3.11大震災と原発を乗り越えて	武田悦江 // 取材・著	歴史春秋社	2012
S/4208/チ	「知恵と夢」の支援 作品集 子どもが元気に育つまちづくり 東日本大震災復興プラン国際提案競技		こども環境学会	2011
S/4208/ト	福島人なき「復興」の10年 フォト・ルポルタージュ	豊田直巳	岩波書店	2022
S/4208/ト	「明るい未来」を子どもたちに 原子力に未来を夢みた町に生きて	豊田直巳/写真・文	農山漁村文化協会	2020
S/4208/ト	土に生かされた暮らしをつなぐ 村に帰った「サマショール」の夢	豊田直巳/写真・文	農山漁村文化協会	2021
S/4208/ト	福島に生きる凜ちゃんの10年 家や学校や村もいっぱい変わったけれど	豊田直巳/写真・文	農山漁村文化協会	2021

分類	書名	著者名など	出版社	出版年
S/4208/ト	百年後を生きる子どもたちへ 「帰れないふるさと」の記憶	豊田直己 // 写真・文	農山漁村文化協会	2020
S/4208/ト	福島を生きる人びと フォト・ルポルタージュ	豊田直己 // 著	岩波書店	2014
S/4208/ニ	東日本大震災と社会教育	日本社会教育学会 // 編	東洋館出版社	2019
S/4208/ニ	サムライブルーの料理人3・11後の福島から	西芳照 // 著	白水社	2014
S/4208/ハ	までいな村、飯館 酪農家・長谷川健一が語る	長谷川健一・長谷川花子 // 著	七つ森書館	2014
S/4208/フ	FUKUSHIMAの10年 震災・原発事故に向き合った市民団体50の物語	ふくしま連携復興センター アーカイブ編集委員会 // 編	ふくしま連携復興センター	2021
S/4208/フ	福島が日本を超える日	浜矩子・白井聰・藻谷浩介・大友良英・内田樹 // 著	かもがわ出版	2016
S/4208/フ	福島は訴える 「くらし」「子育て」「なりわい」を原発に破壊された私たちの願いと戦い	福島県九条の会 // 著	かもがわ出版	2011
S/4208/フ	福島10の教訓 原発災害から人びとを守るために		福島ブックレット刊行委員会	2015
S/4208/フ	フタバから遠く離れて 避難所からみた原発と日本社会	船橋淳 // 著	岩波書店	2012
S/4208/フ /2	フタバから遠く離れて Ⅱ 原発事故の町からみた日本社会	船橋淳 // 著	岩波書店	2014
S/4208/フ	双葉町を襲った放射能からのがれて わたしたちの証言集	目黒とみ子 // 聞書き みやぎ民話の会 // 編集 協力	双萩会	2016
S/4208/フ	福島県の鉄道から見た東日本大震災 被災から運行再開。そして復興へ。		高樹屋	2011
S/4208/ミ	帰れない村 福島県浪江町「DASH村」の10年	三浦英之	集英社	2022
S/4208/ヤ	「原発避難」論 避難の実像からセカンドタウン、故郷再生まで	山下祐介・開沼博 // 編著	明石書店	2012
S/4208/ヤ /1	小さな町を呑みこんだ巨大津波 語りつぐ・証言	やまもと民話の会 // 執筆	やまもと民話の会	2011
S/4208/ヤ /2	小さな町を呑みこんだ巨大津波語りつぐ 第二集 声なき声に寄りそう	やまもと民話の会 // 執筆	やまもと民話の会	2011
S/4208/ヤ /3	小さな町を呑みこんだ巨大津波 語りつぐ 第三集 鎮魂・復興へ	やまもと民話の会 // 執筆	やまもと民話の会	2011
S/4208/ユ	何が起きても命を守る防災減災BOOK	ゆうゆう編集部 // 編	主婦の友社	2016
S/4208/ヨ	その後の福島 原発事故後を生きる人々	吉田千亜	人文書院	2018
S/4208/ヨ	孤星 双葉郡消防士たちの3・11	吉田千亜 // 著	岩波書店	2020
S/4208/ワ	震災後に考える 東日本大震災と向きあう92の分析と提言	早稲田大学・震災復興研究論集編集委員会 // 編	早稲田大学出版部	2015
S/4209/タ	福島ひまわり里親プロジェクト物語 チームふくしまの奇跡	田原実 // 作 西原大太郎 // 画	インフィニティ	2018
S/4209/チ	ひまわりが咲くたびに“ふくしま”が輝いた！	チームふくしま // 著 半田真仁 // 文	ごま書房新社	2017
S/4209/ト	日本財団は、いったい何をしているのか 第四巻 災害に立ち向かう群像	鳥海美朗 // 著	木楽舎	2018
S/4209/ヒ	ひまわり甲子園BOOK		チームふくしま	2020

分類	書名	著者名など	出版社	出版年
S/4209/ヒ	僕たちが見つけた道標 福島の高校生とボランティア大学生の物語	兵藤智佳 // 著	晶文社	2013

### 【心・からだ・性】

S/5101/ア	3.11と心の災害 福島にみるストレス症候群	蟻塚亮二・須藤康宏 // 著	大月書店	2016
S/5101/ト	大災害と子どもの心 どう向き合い支えるか	富永良喜 // 著	岩波書店	2011
S/5101/ロ	ハンドブック 災害と心のケア	デビッド・ロモ // 著	アスク・ヒューマン・ケア	2011
S/5104/ア	あの日から起きたこと 大地震・原発禍にさらされた医療者たちの記録	はる書房編集部 // 編	はる書房	2013
S/5104/イ	甲状腺がん異常多発とこれからの広範な障害の増加を考える 福島で進行する低線量・内部被ばく	医療問題研究会 // 編 著 林敬次 // 監修	耕文社	2015
S/5104/カ	なきれないけどあきらめない チェルノブイリ・フクシマ	鎌田實 // 著	朝日新聞出版	2011
S/5104/ケ	水俣の教訓を福島へ 水俣病と原爆症の経験をふまえて	原爆症認定訴訟熊本弁護団 // 編著	花伝社	2011
S/5104/ゲ	水俣の教訓を福島へ part2 すべての原発被害の全面賠償を	原爆症認定訴訟熊本弁護団 // 編 荻野晃也[ほか] // 著	花伝社	2011
S/5104/ス	これから100年放射能と付き合うために	菅谷昭 // 著	亜紀書房	2012
S/5104/ス	原発事故と甲状腺がん	菅谷昭 // 著	幻冬舎ルネッサンス	2013
S/5104/ツ	医学的根拠とは何か	津田敏秀 // 著	岩波書店	2013
S/5104/ナ	放射線医が語る被ばくと発がんの真実	中川恵一 // 著	ベストセラーズ	2012
S/5104/ニ	協同の力でいのち輝け 医療生協・復興支援◎地域まるごと健康づくり	西村一郎 // 著	合同出版	2015
S/5104/ハ	低線量汚染地域からの報告 チェルノブイリ26年後の健康被害	馬場朝子・山内太郎 // 著	NHK出版	2012
S/5104/ヒ	フクシマ6年後消されゆく被害 歪められたチェルノブイリ・データ	日野行介 尾松亮 // 著	人文書院	2017
S/5104/ヒ	東日本大震災における医療・健康支援 男女共同参画の視点から	堂本暁子・天野恵子 // 監修 女性と健康ネットワーク // 編	女性と健康ネットワーク	2013
S/5104/ヒ	内部被曝	肥田舜太郎 // 著	扶桑社	2012
S/5104/ホ	放射線被曝の争点 福島原発事故の健康被害は無いのか	渡辺悦司[ほか] // 著	緑風出版	2016
S/5104/モ	いのちを救う災害時医療	森村尚登 // 著	河出書房新社	2019
S/5105/ヒ	福島原発事故 県民健康管理調査の闇	日野行介 // 著	岩波書店	2013
S/5105/フ	福島への帰還を進める日本政府の4つの誤り 隠される放射線障害と健康に生きる権利	沢田昭二[ほか] // 著	旬報社	2014

### 【文学・芸術・スポーツ】

S/6102/ウ	小さな神たちの祭り	内館牧子	潮出版社	2021
S/6102/エ	今日もフツーにごはんを食べる	枝元なほみ // 著	芸術新聞社	2013

分類	書名	著者名など	出版社	出版年
S/6102/Ⅰ	吉永小百合の祈り	NHKアーカイブス制作班 // 著	新日本出版社	2015
S/6102/カ	フクシマに立つ 五行歌集	叶静游 // 著	市井社	2012
S/6102/カ	変わらない空 泣きながら、笑いながら	東日本大震災を経験した五十五人の日本人 // 草	講談社	2014
S/6102/サ	原発禍を生きる	佐々木孝 // 著	論創社	2011
S/6102/サ	原発難民の詩	佐藤紫華子 // 著	朝日新聞出版	2012
S/6102/タ	再来年の約束	田中雅秀 // 著	ふらんす堂	2020
S/6102/ナ	渚のこゑ 詩歌・俳句・隨筆作品集 東日本大震災復興がんばれ日本！	日本詩歌句協会 // 編	第三書館	2011
S/6102/ワ	福島原発難民 南相馬市・一詩人の警告 1971～2011年	若松丈太郎 // 著	コールサック社	2011
S/6102/ワ	詩の礫	和合亮一 // 著	徳間書店	2011
S/6102/ワ	詩の邂逅	和合亮一 // 著	朝日新聞出版	2011
S/6102/ワ	詩ノ黙礼	和合亮一 // 著	新潮社	2011
S/6102/ワ	その日と分かっていたらフクシマのまほちゃん詩集	渡辺えみこ // 著・挿画	七月堂	2011
S/6103/オ	福島FUKUSHIMA土と生きる 大石芳野写真集	大石芳野 // 著	藤原書店	2013
S/6103/フ	ふくしまの夢、画用紙にのせて Visions of Fukushima Children	福島県の子どもたち // 絵	小学館	2013
S/6103/ヤ	なじよすべ 詩と写真でつづる3・11	山本宗輔 // 写真 関久雄 // 詩	彩流社	2019
S/6105/ク	クロニクルFUKUSHIMA	大友良英[ほか] // 著	青土社	2011
S/6106/カ	3・11後を生き抜く力声を持て	神田香織 // 著	インパクト出版会	2014
S/6108/イ	やつぱはあ！希望の光	石山誠 // 文・絵	SEEDS出版	2011
S/6108/エ	サダコのおり鶴 9.11と3.11を結んだ祈り	ERICCO(本多恵理) // 作・絵	郡山西ロータリークラブ	2013
S/6108/ク	じしんのえほん こんなときどうするの？	国崎信江 // 作 福田岩緒 // 絵	ポプラ社	2013 (2006)
S/6108/タ	みえないばくだん	たかはしよしこ // 文 かとうはやと // 絵	小学館	2011
S/6108/チ	ぼくのひまわりおじさん	チャンキー松本 // 絵と物語 中島敏子 // ルボ 半田真仁 // 監修	文屋	2018
S/6108/フ	ふくしまの子どもたちが描くあのとき、きょう、みらい。	福島相馬の小学生たち // 絵 蟹江杏・佐藤史生 // 編	徳間書店	2011
S/6108/フ	ふくしまで、オレは農業をやる	藤倉紀美子 // 文 菅野伝授 // 画	文芸社	2017
S/6108/マ	ふくしまからきた子	松本猛 // 作 松本春野 // 絵	岩崎書店	2012
S/6108/マ	地震の夜にできること。	松本春野 // 文・絵	角川書店	2011
S/6108/ミ	きぼうのとり	みず文庫 // 絵・文	福島民報社	2021

分類	書名	著者名など	出版社	出版年
S/6108/モ	希望の牧場	森絵都 // 作 吉田尚令 // 絵	岩崎書店	2014
S/6108/ワ	はしるってなに	和合亮一 // 文 きむら ゆういち // 絵	芸術新聞社	2013
S/6201/ニ	共に、前へ羽生結弦 東日本大震災10年の記憶	日本テレビ「news every.」取材班	祥伝社	2021

【情報・ネットワーク】

S/7101/ク	3・11を心に刻むブックガイド	草谷桂子 // 著	子どもの未来社	2013
S/7101/キ	わたしは「ひとり新聞社」岩手県大槌町で生き、考え、伝える	菊池由紀子	亜紀書房	2023
S/7102/ラ	ラジオは真実を報道できるか 市民が支える「ラジオフォーラム」の挑戦	ラジオフォーラム・小出裕章 // 著	岩波書店	2015
S/7104/フ	福島と生きる 国際NGOと市民運動の新たな挑戦	藤岡美恵子・中野憲志 // 編	新評論	2012

【国際関係・各国事情】

S/8104/ヒ	国連グローバー勧告 福島第一原発事故後の住民がもつ「健康に対する権利」の保障と課題	ヒューマンライツ・ナウ // 編	合同出版	2014
S/8201/カ	なぜドイツは脱原発を選んだのか 巨大事故・市民運動・国家	川名英之 // 著	合同出版	2013